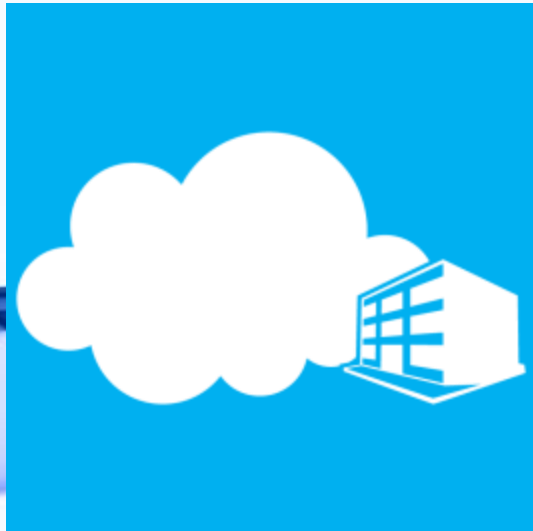


# Microsoft Azure ご利用例



2014年3月

日本マイクロソフト株式会社

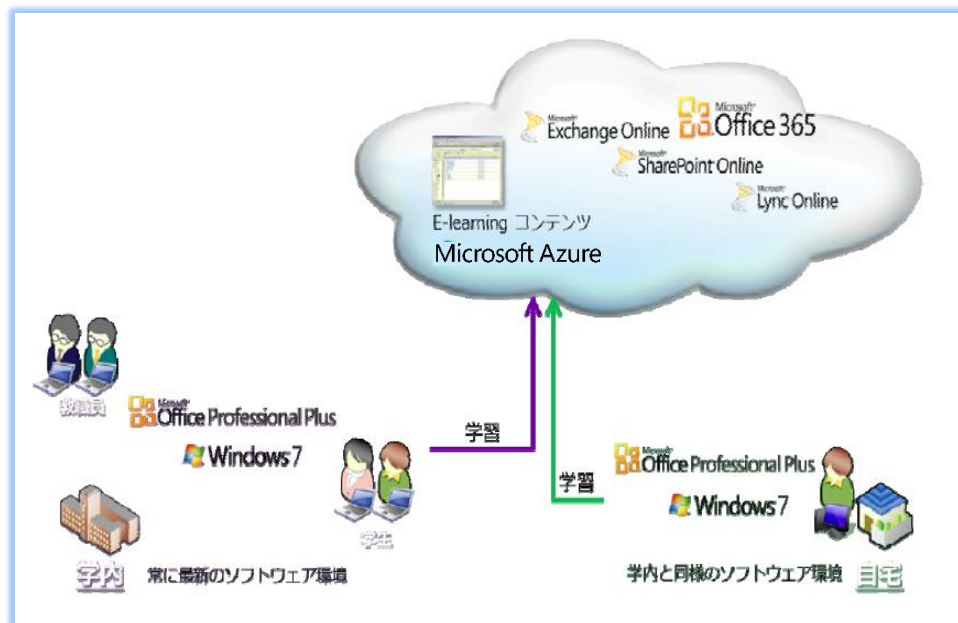
Microsoft Azure

# 立教大学：立教型ビジネス基礎講座 e-Learning より実社会で活躍できる人材の育成をサポート

## システム概要

両社で共同開発した「立教型ビジネス基礎講座」で、マイクロソフトが講師を務めた講座をeLearningとしてオンデマンドストリーミング配信するシステム

- 立教大学の商学教育実績と経営学部ビジネスリーダーシッププログラム等の試みとマイクロソフトのグローバルなビジネスノウハウをコンテンツとして、教育機関としての付加価値の創出を実現



## 背景/課題

- 実社会で活躍できる人材育成への取り組み強化
- 学生のプログラミングコンテスト「イマジンカップ」を提供するなど、世界で活躍できる人材育成に幅広く取り組んできたマイクロソフトとの連携

## マイクロソフトサービスご利用背景

- ビジネス現場で利用されているのと同じソフトウェアを活用し、学ぶ環境を整備

## クラウドサービス 採用メリット

- クラウドサービスご利用による運用の委託
- コアコンピタンスとなる教育コンテンツ開発へのフォーカス

立教大学

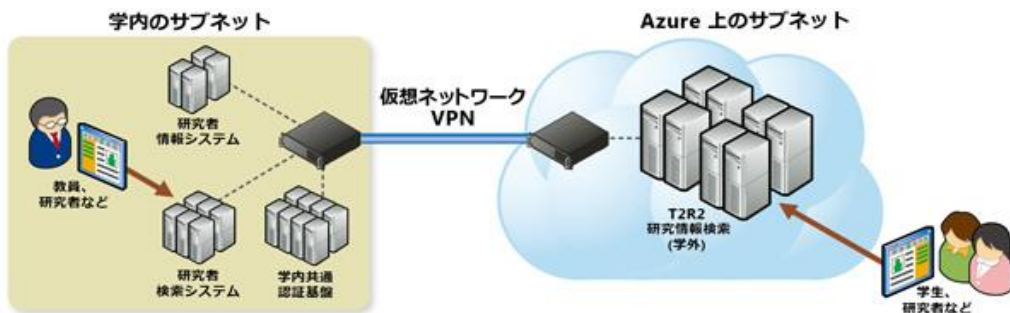


# 東京工業大学：Linux ベースの学術リポジトリ システム「T2R2」の安定運用を Azure で構築

## システム概要

2011 年に研究者検索システム「東京工業大学STAR Search (以下、STAR Search)」を公開しました。そして 2012 年、STAR Search の柱の 1 つである学術リポジトリ システム「東京工業大学リサーチリポジトリ (以下、T2R2)」のクラウド化に向けた取り組みに着手しました。このプロジェクトにおいて、Linux ベースで開発された T2R2 の移行先として、マイクロソフトのパブリック クラウド サービス、Azure を選択

- ❖ Linux ベースのシステムを Azure 上に移行
- ❖ VPN 接続によるオンプレミス環境と連携したハイブリッドクラウド環境の構築



## 背景/課題

- T2R2 を安定運用するための方法を以前から検討（定期点検などによる停電への対応）
- ハイスペックマシンの必要性による導入コストの増大化を懸念

## マイクロソフトサービスご利用背景

- 既存システムから Azure の IaaS サービスである仮想マシンへの容易な移行
- VPN接続による安全なデータ連携

## クラウドサービス 採用メリット

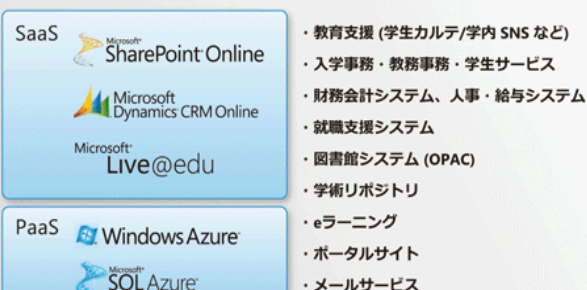
- Azure 上に直接、Linux を仮想マシンとしてプロビジョニング
- プロフィール情報の入ったサーバーはオンプレミスとして学内に残し、それ以外のデータを Azure 上に移行。Azure 仮想ネットワークを活用した VPN 接続で、セキュアにデータを連携
- Azure の包括ライセンス サービスを提供

# 国士舘大学：学内 ICT サービスのフルクラウド化に Azure を採用して維持／運用コストを5分の1に削減

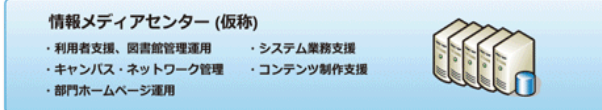
## システム概要

学生カルテなどの教育支援システムから、入学/教務事務、財務会計や人事給与、就職支援、図書館システム (OPAC)、学術リポジトリ サービス、e ラーニング、ポータルサイト、メールサービスなど学内のほぼすべてのシステムを“フルクラウド化”する画期的なプランを策定しました。そしてプラン実現のため Azure をはじめとする、マイクロソフトのクラウド ソリューションを採用

### クラウド基盤



### 学内システム



### 導入対象



## 背景/課題

- ・ 既存資産の流用ができず、導入コストの増大化
- ・ SaaS ベースでのシステムの導入を検討

## マイクロソフトサービスご利用背景

- ・ 既存資産の流用ができ導入スケジュールの短縮化
- ・ 導入コストの低減化

## クラウドサービス 採用メリット

- ・ Azure の採用により、システム開発を大幅に効率化。導入コストを抑えながらパブリック クラウドへの移行を実現
- ・ 従量課金制により、クラウド活用のランニング コストを5分の1に低減
- ・ SharePoint Online や Microsoft Dynamics CRM Online を活用した各システムのシームレスな連携により、教員と学生のより親密なコミュニケーションを実現する「学内 SNS」の構築を可能に
- ・ データの容量に制約がないパブリック クラウドの特長を活かして、生涯利用可能なリポジトリ サービスを提供
- ・ パートナー：株式会社タイムインターメディア

# 関西大学：幼稚園～大学までの学習成果ファイルをクラウドで管理



## 背景/課題

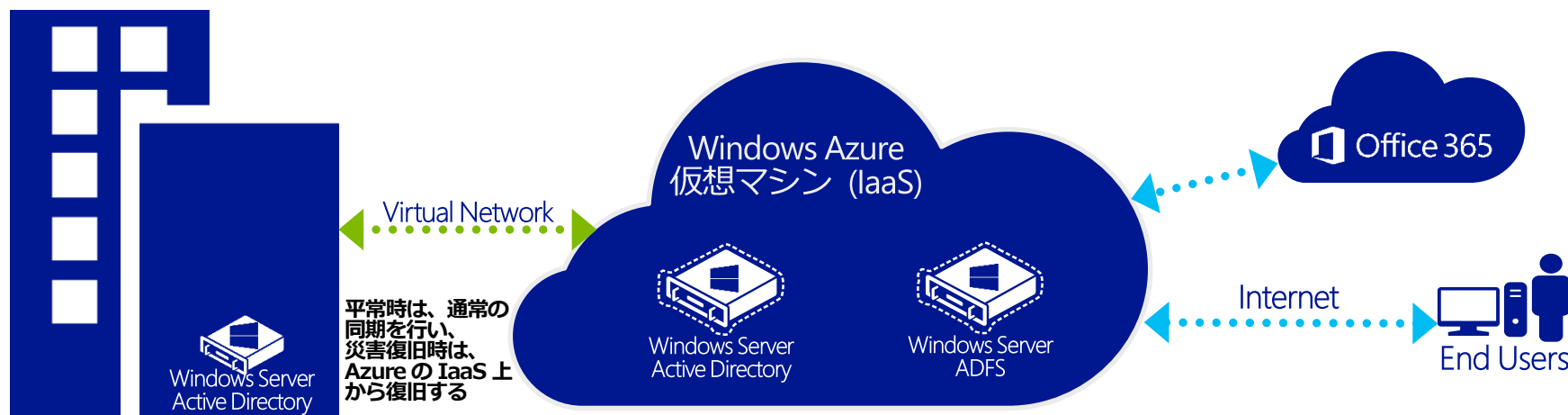
- 付属の初等部、中等部、高等部で個別管理されてきた学習データは、学校ごとに管理されていて、学生の教育も学校単位でのみの実施であった。
- 系列校へ進学した学生の学習成果の把握、および学生の障害教育支援のために、修学期間を通じた成果物の統合情報が必要であった。

## クラウドサービス 採用メリット

- 確実に増加するデータに柔軟に対応するため、クラウドの利用を決定
- Web上でいつでも修学期間の学習成果を検索／閲覧できるようになった
- パートナー：タイムインターメディア

# 某お客様：認証システムをクラウド化し安定したOffice 365への シングルサインオン環境の実現

- Office 365 連携
  - Office 365 導入時に Active Directory でのシングルサインオンを実現したい場合、ADFS (Active Directory Federation Services) の導入が必要
- 物理サーバーは不要
  - クラウドサービスを導入したのに、認証用に物理サーバーを追加購入はしたくない
- BCP 対策
  - 災害や停電時などにもシングルサインオンによる Office 365 へのアクセス環境を提供
- 大学をはじめ様々なお客様で導入







本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は、本資料作成時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。本資料に特別条件等が提示されている場合、かかる条件等は、貴社との有効な契約を通じて決定されます。それまでは、正式に確定するものではありません。従って、本資料の記載内容とは異なる場合があります。また、本資料に記載されている価格はいずれも、別段の表記がない限り、参考価格となります。貴社の最終的な購入価格は、貴社のリセラー様により決定されます。マイクロソフトは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。すべての当該著作権法を遵守することはお客様の責務です。Microsoftの書面による明確な許可なく、本書の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段（電子的、機械的、複写、レコーディング、その他）、および目的であっても禁じられています。これらは著作権保護された権利を制限するものではありません。Microsoftは、本書の内容を保護する特許、特許出願書、商標、著作権、またはその他の知的財産権を保有する場合があります。Microsoftから書面によるライセンス契約が明確に供給される場合を除いて、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。

© 2014 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。